



し の み や



杉並区立四宮小学校

令和6年5月1日

あなたは、どうしたいの？

副校長 齊藤 慎一

新緑のまぶしい季節になりました。子どもたちは新しいクラス、担任にも慣れてきており、楽しそうな笑い声が教室に響いております。

先日の保護者会では、子どもが自ら問いをもち、課題解決する力が求められていることを話させていただきました。言葉として表すとこの通りなのですが、実際は子どもが自らの力で学ぼうとするとき、しばしば非効率的で時間のかかることがあります。その事柄について既に知っている我々大人からしてみれば、もっと手っ取り早く学んでほしいと感じます。しかし、この紆余曲折している時間が実は、その子が自ら学ぶ力を高めている時間でもあります。大人も同じです。

具体例を挙げます。私の知り合いの方が料理をたくさん作れるようになりたいと願い、毎日、インターネットの料理サイトを見て作っていたそうです。その方は、指示通りの手順、分量をしっかりと守り、おいしい料理が作れるようになったと嬉しがりました。ところが、ある日、子ども向けの味付けにしたいと思ったときに、何をどうすればよいのか分からなくて困ってしまったそうです。つまり、指示された通りに作ることはできるのですが、なぜそのようにするのかまでは考えていなかったために応用が効かなかったということです。

子どもの学びも同じです。大人がよかれと思って先回りし、すぐに答えを与えたり、指示を出してその通りに取り組ませたりすることは簡単ですし、時間も短縮できます。しかし、それでは指示を出してくれる人がいなくなったときに、その子は自分の力で考えることができません。

例えば、お子さんが何かを尋ねてきたとしましょう。そのとき、保護者の方はどのように対応していますか。もちろん、緊急を要する質問であればすぐに回答しなければなりません。しかし、じっくりその子が考えてもよい状況であれば、質問に対して「あなたは、どうしたい？」と聞き返してみてください。このたった一言だけで、その子は自分の力で考えるという機会を与えられたこととなります。学校でも先生方は「あなたはどうしたかったのかな？」「次の時間は、どうしようか？」と子どもに尋ねる言葉を増やすよう努力しています。

自分で考える子になるためには、日頃から「自分の力で考える習慣」をもてるようにしたいものです。それは大人のちょっとした工夫で実現可能です。自分で考え、選択した結果については、子どもは自分で責任をもてるようになります。

四宮小学校は今年度、杉並区教育課題研究指定校となりました。授業を通して、このような教育観を磨き上げることが目的に、先生方は日々研鑽に励んでおります。学校と家庭、地域が一体となって子どもたちの成長のために、大人自身が成長したいと思っております。

今後とも引き続き、どうぞよろしくお願い致します。

よつば体育発表会について 5月25日(土)(雨天時5月26日)

「よつば体育発表会」と改名して2年目。今年度は6年生が一日係活動として発表会を支え、子どもたちと作り上げる体育発表会を目指します。集団活動を通し、思いやりの心や協力し合う態度などを育てながら、日頃の体育学習の成果を発表します。子供たちが全力で表現し作り上げる体育発表会をお楽しみにしてください。

詳細については、各学年より配布物にてお知らせいたします。

9:00~1・2・3年生 短距離走・表現

10:35~4・5・6年生 短距離走・表現

※昨年度同様、参観される保護者の
入れ替えを行います。